



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長C00 (氏名) 成川 敦
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	62,169	△26.3	111	△95.9	412	△85.5	△1,202	—
2020年3月期第3四半期	84,409	△22.3	2,711	△25.1	2,834	△29.4	1,350	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,032百万円 (-%) 2020年3月期第3四半期 1,246百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△52.97	—
2020年3月期第3四半期	59.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	77,001	56,260	66.3	2,250.86
2020年3月期	80,825	58,995	66.5	2,369.46

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 51,081百万円 2020年3月期 53,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 2020年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△20.7	50	△97.5	200	△92.3	△2,500	—	△110.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	26,000,000株	2020年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,305,647株	2020年3月期	3,306,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	22,694,152株	2020年3月期3Q	22,611,026株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における世界経済は、前半に新型コロナウイルス感染拡大で大きく落ち込みましたが、後半は各国の経済対策等により持ち直してきました。しかしながら一部の国や地域で感染が再拡大する等、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属する電子部品業界においても、コロナ・ショックによる影響から部品需要が大きく落ち込んだ後、中国経済等の回復により自動車関連市場を中心に需要は回復基調に転じました。しかしながら感染再拡大もあり引き続き予断を許さない状況下にあります。

こうした中、当社グループは、自動車市場の需要回復を捉え受注を確保するとともに、厳しい市場環境に対処すべく、経費削減、設備投資の抑制、業務の合理化等、企業体質の強化を図ってきました。これらにより売上高は回復基調で推移しましたが、損益面では、11月以降の世界規模でのコンテナ船運賃の大幅な急騰が大きな圧迫要因となっており、売上高の回復に伴う利益が大幅に減殺されました。この影響は、年度末まで続くものと見込んでいます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、62,169百万円(前年同期比26.3%減)、営業利益は111百万円(前年同期比95.9%減)、経常利益は412百万円(前年同期比85.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,202百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,350百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

車載用スピーカ・スピーカシステムの販売は、コロナ・ショックの影響を受けました。第1四半期を過ぎると、顧客自動車工場の稼働率が上がり、当社グループの売上高も回復しましたが、第3四半期には世界規模でのコンテナ船運賃の大幅な急騰により、損益を大きく圧迫しました。その結果、売上高が39,694百万円(前年同期比18.5%減)、営業利益が138百万円(前年同期比94.6%減)となりました。

[モバイルオーディオ事業]

民生用アクチュエータの出荷は計画通りでしたが、主要顧客向けヘッドセットの販売が大きく減少したことから、売上高が17,502百万円(前年同期比43.5%減)、営業損失が41百万円(前年同期は営業利益388百万円)となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他の売上高は、5,186百万円(前年同期比7.7%増)でした。営業利益は14百万円(前年同期は営業損失248百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に有価証券の減少により前連結会計年度末に比べ3,824百万円減少して77,001百万円となりました。負債は、主に借入金の減少により前連結会計年度末に比べ1,089百万円減少して20,740百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ2,735百万円減少して56,260百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比0.2ポイント減の66.3%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより21,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,034百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、棚卸資産の減少等により2,277百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により1,741百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、長期借入金の減少等により2,079百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向に鑑み業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「特別損失の計上及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,770	21,987
受取手形及び売掛金	14,852	16,499
電子記録債権	293	295
有価証券	10,098	940
製品	11,856	10,912
原材料	4,342	4,158
仕掛品	1,293	1,120
貯蔵品	131	168
未収入金	921	638
その他	1,424	1,701
貸倒引当金	△31	△29
流動資産合計	59,952	58,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,127	7,370
機械装置及び運搬具(純額)	5,382	4,190
工具、器具及び備品(純額)	1,787	1,524
土地	1,435	1,387
建設仮勘定	1,247	1,314
有形固定資産合計	17,980	15,787
無形固定資産		
ソフトウェア	98	83
その他	118	114
無形固定資産合計	217	198
投資その他の資産		
投資有価証券	1,297	1,393
長期前払費用	112	85
退職給付に係る資産	715	636
繰延税金資産	263	282
その他	286	223
投資その他の資産合計	2,675	2,621
固定資産合計	20,872	18,606
資産合計	80,825	77,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,390	8,491
短期借入金	2,138	2,205
1年内返済予定の長期借入金	1,766	1,492
未払金	2,782	2,557
未払法人税等	646	284
未払費用	1,739	1,733
賞与引当金	549	468
その他	770	807
流動負債合計	17,783	18,041
固定負債		
長期借入金	2,637	1,362
繰延税金負債	633	552
退職給付に係る負債	63	67
役員退職慰労引当金	16	16
株式給付引当金	121	138
資産除去債務	249	253
その他	323	309
固定負債合計	4,047	2,699
負債合計	21,830	20,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	7,957	7,957
利益剰余金	45,696	43,924
自己株式	△5,089	△5,083
株主資本合計	55,335	53,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	218
為替換算調整勘定	△1,281	△2,279
退職給付に係る調整累計額	△409	△426
その他の包括利益累計額合計	△1,563	△2,486
非支配株主持分	5,224	5,178
純資産合計	58,995	56,260
負債純資産合計	80,825	77,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	84,409	62,169
売上原価	72,390	54,181
売上総利益	12,019	7,988
販売費及び一般管理費	9,307	7,876
営業利益	2,711	111
営業外収益		
受取利息	209	103
受取配当金	30	19
為替差益	—	170
雑収入	323	313
営業外収益合計	562	607
営業外費用		
支払利息	103	53
為替差損	208	—
雑損失	129	252
営業外費用合計	440	306
経常利益	2,834	412
特別利益		
固定資産売却益	2,918	—
国庫補助金	295	—
特別利益合計	3,213	—
特別損失		
減損損失	2,290	891
特別退職金	668	154
特別損失合計	2,959	1,046
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,088	△633
法人税、住民税及び事業税	1,190	341
法人税等調整額	59	△55
法人税等合計	1,249	286
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,838	△920
非支配株主に帰属する四半期純利益	488	281
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,350	△1,202

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,838	△920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	520	91
為替換算調整勘定	△1,337	△1,143
退職給付に係る調整額	224	△60
その他の包括利益合計	△592	△1,112
四半期包括利益	1,246	△2,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011	△2,125
非支配株主に係る四半期包括利益	234	92

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,088	△633
減価償却費	2,388	2,357
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△34	71
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41	△84
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,918	—
補助金収入	△295	—
減損損失	2,290	891
特別退職金	668	154
受取利息及び受取配当金	△239	△123
支払利息	103	53
為替差損益(△は益)	△4	11
売上債権の増減額(△は増加)	△513	△1,580
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,117	1,249
仕入債務の増減額(△は減少)	45	1,072
未収入金の増減額(△は増加)	333	278
未払金の増減額(△は減少)	△402	△215
その他	72	△371
小計	8,658	3,135
利息及び配当金の受取額	239	123
利息の支払額	△103	△53
補助金の受取額	295	—
特別退職金の支払額	△668	△101
法人税等の支払額	△923	△825
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,498	2,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△832	△760
有価証券の償還による収入	1,458	634
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△3,690	△1,559
有形固定資産の売却による収入	2,807	—
無形固定資産の取得による支出	△62	△33
定期預金の増減額(△は増加)	218	—
長期前払費用の取得による支出	△49	△35
その他	0	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150	△1,741
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△169	158
長期借入金の返済による支出	△7,074	△1,507
配当金の支払額	△681	△570
非支配株主への配当金の支払額	△148	△159
その他	△15	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,089	△2,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	△573	△491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,315	△2,034
現金及び現金同等物の期首残高	21,524	23,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,209	21,895

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループでは新型コロナウイルス感染拡大の影響について、当初は2021年3月期中に概ね収束するものとの仮定を置いておりましたが、今後の拡大や収束時期に関しては不確実性が高く、2022年3月期も一定期間にわたり継続するとの仮定に変更し、固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該会計上の見積りは現時点における最善の見積りではあるものの、当該見積りに用いた仮定の不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の状況やその経済への影響が変化した場合には、損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	48,728	30,977	4,703	84,409	—	84,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	110	110	△110	—
計	48,728	30,977	4,813	84,519	△110	84,409
セグメント利益又は損失 (△)	2,571	388	△248	2,711	△0	2,711

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スピーカ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を978百万円計上しております。

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を1,050百万円計上しています。

「その他事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を262百万円計上しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	39,694	17,502	4,972	62,169	—	62,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	213	213	△213	—
計	39,694	17,502	5,186	62,382	△213	62,169
セグメント利益又は損失 (△)	138	△41	14	111	△0	111

(注)1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スピーカ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を682百万円計上しております。

「その他事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を209百万円計上しています。